

令和2年度

こども園のしおり



もみじこども園

TEL 052(736)6670

FAX 052(736)6671

〒463-0812 名古屋市守山区笹ヶ根一丁目1003番地

目次

1	もみじこども園	P 1
2	保育内容	P 3
3	給食について	P 6
4	こども園の概要と諸規則	P 9
5	安全対策と事故防止	P 18
6	衛生管理	P 20
7	苦情処理	P 26
8	個人情報の使用について	P 27
★	服装・持ち物準備品	P 28
★	各クラス配置図	
★	園施設の概要	

添付資料

SIDSについて

子どもの登園基準

こども園における感染症の登園基準一覧表

理事長あいさつ

理事長 松本 賢一

ご入園 ご進級おめでとうございます。

自然豊かなこの地域で子どもたちの手のひらがモミジの葉のように年を重ねるごとにより大きく開き、それぞれの成長に繋がることに想いを込めて、もみじこども園（もみじ保育園）と名付けました。

白山福祉会の子育て理念は

人としての礎を培うこと です

人の心は、この世に生まれ出た時点で真白な紙のように純粋なものであると考え、その成長の課程において家族をはじめ、数多くの人と接し、多くの経験を重ねながら人としての生を確立していきます。そして乳・幼児期は人格形成において最も大切な時期であると言われております。子どもの心を真っ白な紙に例えるならば人の育ちとして基本となる色が存在し、ひとつは「個性（自分）を表現する色、もう一つは、「社会性（公のなかでの自分）」を表現する色と考えます。 そのような大切な時期を落ち着いた環境の中で過ごすことにより、子どもたちの心が自ら育つ力になり「個性」と「社会性」の良い色に染まっていくことができれば幸いであると考えております。

園長をはじめ、職員一同で子どもたちの最善の利益を優先し、養護と教育が一体となった保育を進めてまいります。こども園は、ご家庭と地域の方々と連携を取りながら、社会の宝である子どもたちの成長を応援していきたいと思っております。

ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1・もみじこども園

保育理念

白山福祉会の理念 人としての礎を培うこと

もみじこども園は児童憲章に示されている『児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んぜられる。児童は、よい環境の中で育てられる。』という理念を日常の教育・保育において行い、こどもたちの心身の健やかな成長を援助していきます。

（１）教育・保育方針

・個性と人格の尊重

家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりを受け止め、認め、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、乳児から幼児までの発達連続性を大切に活動することにより自信に繋げ、すこやかな成長を援助します。

・豊かな人との関わり

多様な人とのかかわりの中で大人との信頼感を育て、友だちを大切にし、みんなと一緒にいることの楽しさがわかる子どもを育てます。

・さまざまな生活体験を通した豊かな学び

自然や社会現象、伝承遊びなど様々な遊び・体験を通して感性や想像力の豊かな子どもを育てます。

・保護者の方の就労支援

家庭と協力しながら、一緒に子育てについて考えていきます。地域の子育て支援を積極的に行います。

（２）教育・保育目標

よく遊ぶ子 よく食べる子 よく寝る子 丈夫な身体と豊かな心

遊びの中から興味を持ち 自分で考え 行動できる子

たくましく思いやりのある子

生きる力の芽を育てます

明るい笑顔と挨拶、助け合う心、保育の質の向上を目指す学びを職員一同心掛けます。

各クラスの★教育■保育目標

いちご組(0歳児クラス)

- 特定の保育者との関わりの中で信頼関係をつくり、安心し、快適に生活できるようにします。
- 様々な環境で探索活動を楽しみます。

ゆず組(1歳児クラス)

- 自分でしようとする気持ちを大切にします。
- 保育者に親しみ、自分の感情を素直に出します。
- ★ 言葉の理解が進み、友だちにも関心を示し、言葉で表現することを楽しみます。

かりん組(2歳児クラス)

- 基本的な生活習慣を身につけます。
- ★ 様々な経験を通し、いろいろな言葉を習得し、表現しようとしています。
- ★ 遊びを通して運動機能が高まるよう、遊具や運動用具を用います。

くり組(3歳児クラス)

- 基本的な生活習慣が身につく、何でも自分でしようとしています。
- ★ いろいろな行事や遊びを友だちと体験し、園生活の楽しさを知ります。
- ★ 身近な環境に興味を持ち、『やってみたい』気持ちの芽を育てます。

もも組(4歳児クラス)

- 生活の決まりを守り、良い生活習慣を身につけます。
- ★ 友だちや保育者とのかかわりを深め、友だちの良さを認め合いながら個々の力を発揮します。
- ★ いろいろな活動を通して楽しく遊ぶ中で、自信を持ち、『やってみよう』とチャレンジします。

かき組(5歳児クラス)

- 規則正しい生活習慣や態度を身につけます。
- ★ 自然と触れ合い、様々な事象に興味関心を広げ、遊びの中から、数・形・量・文字など興味を深めます。
- ★ 友だちの良さを認め合い、協力し、共通の目的に向かって力を出し、やり遂げた達成感を味わいます。

2. 保育内容

教育・保育の内容に関する全体計画

- ・ 幼児期の終わりまでに育って欲しい10項目（・健康な心と体・自立心・協同性・道徳性 規範意識の芽生え・社会生活との関わり・思考力の芽生え・自然とに関わり 生命尊重・数量や図形、標識や文字などへの関心 感覚・言葉による伝え合い・豊かな感性と表現）を踏まえ生活(遊び)を通し生きる力を育成するよう努めます。
- ・ 集団生活の経験年数が異なる子どもに配慮し、0歳児から就学まで一貫した教育と保育(養護)を基盤とし環境構成や発達の課題に即した指導を行います。
- ・ 絵本の読み聞かせや話しかけにより言葉の興味を大切にします。
- ・ 多文化に興味を持てるように交流の場を設けます。(外国人講師を招いての英語指導)
- ・ なごやこども条例に基づき、子どもの人権に十分に留意します。
- ・ 子どもたち一人ひとりの一日の生活リズムを踏まえ、家庭との連携を密にし、活動と休息、緊張感と開放感の調和を図り、安心して穏やかに過ごせるようにします。
- ・ 長時間にわたる保育では、家庭的な雰囲気の中で落ち着いて生活できるようにし、職員同士の情報伝達に努めます。

乳児保育(0歳児～2歳児)

- ☆ 保護者の方と連絡を密に取り、安定した園生活を送り、生活リズムを整え、基本的な生活習慣の確立を目指します。

着脱

- ・ 園生活の中では、ボタンに興味を持ち、自分でやってみようと思う気持ちを大切にしたいとの想いから、前ボタンのパジャマのご用意をお願いしております。
- ・ 室内は、空調管理がされています。裸足、薄着で過ごします。
- 0歳児・・・ 保育者に着替えさせてもらいながら、徐々に興味をしめす
- 1歳児・・・ 衣類、靴など保育者と一緒に着脱しようとする
- 2歳児・・・ 衣類、靴など一人で着脱し、たたみ、片づけようとする

排泄 清潔

- 0歳児・・・ オムツが汚れたら泣いたり、身振りなどで知らせ、交換してもらう
腰が安定しオムツが濡れていない時は、オマルでの排泄を試みる
保育者と一緒に手洗いをし、やり方を知る
- 1歳児・・・ 生活の変わり目でおむつ替えをし、オマル、トイレで排泄する
便、尿意を自分で知らせる
食前、トイレ後、外遊び後、自分で手洗いをし、拭く習慣をつける
- 2歳児・・・ 排泄の完了を目指します
生活の変わり目や個々の間隔でトイレに行く
女児は便座で、男児は立って排尿をする 女児は排尿後、紙で拭く
手や足が汚れたら洗い、拭く

遊び

- 絵本の読み聞かせや話しかけにより言葉への興味を大切にしております。貸出し絵本を利用していただき、親子で触れ合う時間の一つにしてください。
- 天気の良い日は 戸外で遊んだり、散歩を楽しみます。
- 水、土、草木などの自然に触れ、四季を感じ楽しめます。
- 子どもたちの成長に合わせたおもちゃを選び、一緒に楽しめます。
- わらべ歌、季節のうたを保育者や友だちと楽しめます。

幼児保育（3 歳児～5 歳児）

- 園生活の中から基本的生活習慣の確立や態度を身につけます。
- 遊びきること楽しさや満足感からの自信につなげていく環境をつくれます。
- 行事や遊びで異年齢児との活動の中で、年少者の面倒をみることで優しさや言葉で伝える大切さを知ります。
- お当番を通し、お手伝いすることの大切さを知り、楽しくできるよう促します。
- 絵本の読み聞かせから文字に興味を持ち、自ら積極的に読んでみよう、書いてみようとする環境をつくれます。
- 子どもたち自身で問題解決できる力を育てていきます。
- 自分の気持ちを言葉や絵や作品で表現できるよう促していきます。
- はさみ、のり、クレパス、絵の具、おりがみ、画用紙など使い方を知り表現する楽しさを知ります。
- 遊びを通して数の認識を学びます。
- 外部講師の指導により体操、道具の使い方、ドッチボールなどの運動やルールなどを学びます。集団で指導を受けることで順番で待つ(忍耐力)、友だちと一緒に頑張ろうとする力(協調性)を学びます。(年間 30 回)
- 多文化に触れ、親しむ目的で外国人講師による英語を楽しみます。(年間 30 回)
- 行事を通し、友だちと一緒に作り上げていく楽しさを知ります。
- わらべ歌、季節の歌を友だちとうたったり、身体で表現し、楽しむ環境をつくれます。
- 成長に合わせ、楽器に触れ、奏でる楽しさを知ります。
- 水、土、草木などの自然に触れ、四季の移りかわりを感じながら生活を楽しみます。

<子どもの遊びとケガについて>

子どもは遊びの天才です。つぎつぎと新しい遊びを見つけて挑戦していきます。それとともに困難にも挑戦しています。その中にはしばしば危険を伴うものもあるでしょう。

遊びの中での失敗や、お友達同士のケンカなど日常の園生活の中での小さなケガを経て大きなケガにならないように、状況の判断や危険を予測し避けることのできる能力を養っていただけるように、多くの体験を積んでいってほしいと考えております。体力の向上と平行して「達成感」と「満足感」を実感し、自信を持ち、行動できる子どもに成長できるように保護者の皆様方と共に見守り、手助けしていきたいと思っておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

◎もみじこども園の一日

平日	3 歳未満児	土曜日	平日	3 歳以上児
7 : 0 0 8 : 0 0	開園 朝延長保育 0 歳児～5 歳児	開園 朝延長保育 0 歳児～5 歳児	7 : 0 0 8 : 0 0	開園 朝延長保育 0 歳児～5 歳児
	順次登園 視診 おむつ交換及び排泄 興味や発達に応じた あそび	順次登園 視診 おむつ交換及び排泄 興味や発達に応じた あそび		順次登園 視診 排泄 興味や発達に応じた あそび
9 : 0 0 1 0 : 0 0 1 1 : 0 0 1 2 : 0 0	おやつ おはじまり (朝の挨拶) 主活動 給食 着替え 昼寝	おやつ(未満児) おはじまり (朝の挨拶) 縦割り保育 給食 着替え 昼寝(未満児) 興味や発達に応じた 遊び	9 : 0 0 1 0 : 0 0 1 1 : 3 0 1 2 : 0 0	登園(1 号子ども) おはじまり (朝の挨拶) 主活動 給食着替え 興味や発達に応じた あそび(3 歳児 4 月～8 月は午睡)
1 4 : 0 0 1 5 : 0 0 : 3 0 : 4 5 1 6 : 0 0	目覚め 着替え おやつ お帰りの準備 帰りの会 降園	13 : 00～18 : 00 は 延長保育	1 3 : 3 0 1 5 : 0 0 : 3 0 : 4 5 1 6 : 0 0	クラス活動 おやつ 降園(1 号こども) お帰りの準備 帰りの会 降園
1 8 : 0 0 1 9 : 0 0	延長保育 閉園		1 8 : 0 0 1 9 : 0 0	延長保育 閉園

※16 時以降(土曜日は 13 時以降)延長保育となります。園への別途申請が必要となります。

※※ 3 歳児は 8 月頃まで、4・5 歳児は 7. 8 月水遊びをおこなった日のみ午睡します

年間行事計画

4 月	・入園式 ・対面式 ・子どもの日を祝う会
5 月	・世代間交流会(年長児) ・内科検診
6 月	・保育参観 クラス懇談会(幼児クラス) ・歯科検診 ・世代間交流会(年中児)
7 月	・お泊り保育(年長児) ・七夕まつり ・夏まつり
8 月	
9 月	・防災訓練
1 0 月	・運動会 ・親子遠足(幼児クラス) ・内科検診・ 守山区保育まつり(年長児)
1 1 月	・歯科検診 ・焼いもパーティー ・乳児参観(乳児クラス) ・おにぎり弁当の日
1 2 月	・餅付き ・お別れ遠足(年長児) ・クリスマス会
1 月	・新年を祝う会(2 歳以上)
2 月	・節分・生活発表会(2 歳児以上) ・名古屋市保育まつり(年長児) ・小学校交流会(年長児)
3 月	・ひな祭り ・お別れ遠足(2 歳児以上) ・お別れ会 ・卒園式(年長、年中児)

※ 誕生会・身体測定・避難訓練は毎月実施します

3. 給食について

もみじこども園では、「健康に生きていくための食習慣を身につけること」を食育と考えています。子どもたちの体の一部になる食事は、安全で安心なものであるべきという思いから、栄養士、調理師が、毎日心をこめて手作りしています。

食材の旬を大切にして、主食・汁物・主菜・副菜といった一汁二菜の和食を基本にし、薄味に仕上げることを心がけています。

子どもたちが、食事の時間が楽しみになるように その日に使う野菜の皮むきや野菜の筋取りなどをする朝のお手伝いも行っています。

幼児クラスになると 給食の配膳も自分たちで行います。

- ① ご飯は、左手前
- ② お汁は、右手前
- ③ 主菜は、右奥
- ④ 副菜は、左奥



と確認してから いただきます。

また 毎年、もみじ農園では、子どもたちが お米や野菜を作っています。収穫した野菜等は、調理師たちと一緒にクッキングして自分たちで作る喜びを味わっています。

1) 食育の目標

- 0 歳児・・・いろいろな食材に慣れ、食べることを楽しむ。
- 1 歳児・・・食べることが楽しく自分でスプーンを使い食べようとする。
よく噛んで食べる。
- 2 歳児・・・1人で食べられるようになる。
スプーン・フォークから、箸を使えるように練習を始める。
- 3 歳児・・・食材に興味を持ち、苦手な食材を少しでも食べようとする。
野菜の栽培に興味を示し、育て、食する。
食事の準備や片づけを手伝う。
- 4 歳児・・・食材にも旬があることを知り、季節を感じる。
- 5 歳児・・・食べ物に感謝の気持ちを持ち、食べる。
調理の楽しさを知る。野菜の栽培を経験し、食する。

2) 離乳食について

ご家庭で離乳食を始める頃、こども園でも1人ひとりにあった形状で、離乳を進めていきます。

離乳期に味の濃いものを食べさせていくと、それが将来の嗜好につながってしまいます。

素材そのものの味を大切にし味付けは、だしを使う程度です。

子どもの様子を見ながら、ご家庭と連携をとりながら、進めていきます。

3) 食物アレルギーについて

食物アレルギーを持った子どもは、年々増加し 日本人で乳幼児の3～5%、小学生の1.3%が持っているといわれています。

命にかかわる大切なことなので、正しい知識で対応していくために担当職員は、アレルギー大学を受講しています。

年に一度 専門の医療機関でアレルギー抗体検査や診断を受け医師の診断書を提出して頂きそれに基づき、看護師、保育者、栄養士、調理師が、確認しあい進めていきます。

保護者の独自の判断での食物除去依頼には、お応えできません。

医療機関でのアレルギー抗体検査や診断を受け、その指示に従って進めるようにします。

アレルギーを持ったお子さんもみんなと同じものを食べられるように基本は、和食で米飯給食です。アレルギーのある食材を使うときは、代替えの食材を用いて品数が少なくなることをないようにしています。

※ 当園では、部分（一部）除去は行っておりません。全除去とさせていただきます。

「例：乳…生乳は除去 加熱してあるもの（クリームシチュー、チーズ等）は食べても良い。

：卵…生卵、マヨネーズは除去 加熱してあるもの（ハンバーグのつなぎ、ゆで卵、ウズラの卵、オムライス等）は食べても良い」は、誤食事故の原因になりますので原則として行っておりません。

4) 給食展示について

4月～6月、10月～3月の間 その日の昼食とおやつを午後3時頃までに本棚横に展示します。

夏の間は、衛生面から写真での展示とさせていただきます。

展示の量は、年長組の目安です。2歳児クラスでは、その80%くらいと考えています。食べられる量には、個人差があるのでクラスにおかわりを出し量を調整しています。

5) リクエストメニューについて

子どもたちが、食事の時間をもっと楽しみにできるようにリクエストメニューを行っています。毎月、誕生会メニューをクラス毎に当番で考えます。食べたいメニュー、みんなが喜びそうなメニューを出し合って、調理室にリクエストします。自分たちの当番の月は、いつも以上に喜んでたくさん食べます。

6) お弁当の日について

年に2回 保護者の方にお弁当をお願いする日があります。

11 月は、おにぎり弁当。汁物とおかずは、こども園で用意します。

3 月のお別れ遠足では、お弁当の準備をお願いしています。

7) もみじこども園の食のカレンダー

4 月	入園祝い膳 草餅（よもぎ摘み）
5 月	鯉のぼりランチ 朝のお手伝い開始 端午の節句（柏餅） うどん作り 高野豆腐実験（高野豆腐観察）
6 月	給食試食会（幼児保護者向け）
7 月	七夕ランチ お泊まり保育のカレー作り（年長児）
8 月	なごやめし 和え物作り開始
9 月	仲秋の名月（芋煮）
10 月	さんまパーティ（下処理を見学・園庭で焼く） ハロウィンパーティ（クッキー作り・年長） 運動会応援ランチ
11 月	焼き芋パーティ（幼児が準備・園庭で焼く） おやつ試食会（乳児保護者向け） きのこクイズ（きのこの観察）
12 月	餅つき クリスマス会
1 月	おせち料理 七草の日（七草粥）七草クイズ 鏡開き（ぜんざい）
2 月	節分（恵方巻き・豆まき） 大豆製品クイズ（大豆でできている物は？） 葉っぱクイズ（葉物野菜の観察）
3 月	桃の節句（ひな寿司・桜もち） お別れ会（バイキング） お別れ会（お礼のおやつ作り・年長組）

- ・行事食は、場合により変動があります。
- ・毎月一回、日本全国のその土地ならではのメニュー（ご当地メニュー）も組み入れています。
- ・9 月には、災害訓練として炊き出しを行います。
- ・昼食に使用する野菜の皮むきや米とぎなど【お手伝い】やその日のサラダやあえ物を自分たちで調味【和え物作り】も行っています。

4・こども園の概要と諸規則

1. 定員 95 名
（1 号認定こども 5 名 2 号認定こども 62 名 3 号認定こども 28 名）

2. 保 育 時 間

当園の教育・保育提供時間は次のとおりとなります。

（1）開園時間

月～金	午前 7 時 00 分から午後 7 時 00 分
土	午前 7 時 00 分から午後 6 時 00 分

（2）保育標準時間認定に関する保育時間（11 時間）

当園が定める次の時間帯の範囲内で、保育標準時間認定を受けた支給認定保護者が保育を必要とする時間です。

月～金	午前 7 時 00 分から午後 6 時 00 分
土	午前 7 時 00 分から午後 6 時 00 分

ただし、当園が定める保育時間（11 時間）以外の時間帯において、やむを得ない事情により保育・教育が必要な場合は、当園が定める保育時間（11 時間）から開園時間の間に延長保育を行います。

（3）保育短時間認定に関する保育時間（8 時間）

当園が定める次の時間帯の範囲内で、保育短時間認定を受けた支給認定保護者が保育・教育を必要とする時間です。

月～金	午前 8 時 00 分から午後 4 時 00 分
土	午前 8 時 00 分から午後 4 時 00 分

ただし、当園が定める保育時間（8 時間）以外の時間帯において、やむを得ない事情により教育・保育が必要な場合は、当園が定める保育時間（8 時間）から開園時間の間に延長保育を行います。

（4）1 号認定子ども（満 3 歳以上の小学校就学前児童、2 号認定以外の児童）に関する保育時間当園が定める次の時間帯の範囲内で、保育・教育を必要とする時間です。

月～金	午前 9 時 00 分から午後 3 時 00 分
-----	--------------------------

ただし、当園が定める保育時間（6 時間）以外の時間帯において、やむを得ない事情により教育・保育が必要な場合は、当園が定める保育時間（6 時間）から開園時間の間に延長保育を行います。ご相談ください。

平日、土曜日（希望保育） 教育・ 保育を提供する日、時間

	1号	日・月・火・水・木・金・土
開 所 曜 日	2・3号	日・月・火・水・木・金・土
開 所 時 間 (延長保育)	1号	平日
		9:00～15:00 但し、春季休業（3月27日～4月4日） 夏季休業（8月1日～8月15日）及び 冬期休業（12月25日～1月6日）を除く
		土・日曜日 祝日
		休園日
	2・3号	平日
		7:00 ～ 18:00(～19:00)
		土曜日
		7:00 ～ 18:00
学 期	1号	日曜日・祝日
		休園日
		コア時間
		8:00 ～ 16:00
	1号	1学期
		4月6日頃 ～ 7月20日頃
		2学期
	1号	9月1日頃 ～ 12月24日頃
		3学期
		1月7日頃 ～ 3月24日頃

※日曜日、祝日、および12月29日から1月3日は、休園になります。(2・3号認定子ども)

※夏・年末年始・年度終わりに希望保育期間を設けております。この期間で大掃除、年度始めの準備を行います。ご家庭で育児の出来る方は、ご協力をお願いします。

★延長保育について

- ・保護者の支給認定（保育の必要性の認定）により平常保育時間を超える方は、園長または主任までご相談ください。時間外申請書をお渡ししますので、お勤め先の証明書と勤務表（毎月）を提出ください。
なお、延長保育につきましては、保護者の就労などやむを得ない場合のみ対象となります。
- ・保育時間は、支給認定（保育の必要性の認定）により異なります。それに伴い、延長料金も異なりますのでご了承ください。
- ・利用料金は、階層により異なります。ご不明な場合は、事務所までお尋ねください。
- ・ご連絡いただいた時間にお迎えにお見えでない場合は、こども園から確認のお電話を入れさせていただきますのでご了承ください。なお休暇などで保護者の方が在宅の場合、原則として16時お迎えをお守りください。

★土曜日の保育について

- ・保育時間は上記のとおりですが、お休みをされても欠席とはなりませんので保護者の方がお休みの場合はご家庭でのお時間をおとりいただくことをお勧めいたします。
- ・延長保育（13時～18時）につきましても、平日と同じく就労のためやむを得ない場合に限ります。また、給食準備等の都合上あらかじめ出欠席の予定をお手紙にてお伺いしますので、必ずご提出下さい。

★「ならし保育」について

- ・新規の入園または転入園のお子さんにつきましては、新しい環境に慣れるという意味で「ならし保育」を行います。「ならし保育」の期間は保育開始日を含み、5日間を原則とし、8時以降の登園から給食後12時までにお迎えをお願いいたします。

3. 利用料金

(1) 保育にかかる利用者負担額（利用料）

3歳児～5歳児クラス 無償

0歳児～2歳児クラス 名古屋市が定める利用料を当園にお支払いいただきます。

(2) 延長保育にかかる費用

平日保育 2号3号子どもの場合

	7:00	8:00	16:00	17:00	18:00	19:00
短時間保育		← 保育時間 →	100円		100円	10分ごとに200円
標準時間保育		保育時間			100円	10分ごとに200円

平日保育 1号子どもの場合

	8:00	9:00	15:00	19:00
	← 1時間ごとに200円 →	保育時間	← 1時間ごとに200円 →	10分ごとに200円

土曜日保育 2号3号子ども場合

	7:00	8:00	16:00	17:00	18:00
短時間保育		← 保育時間 →	100円		10分ごとに200円
標準時間保育		保育時間			10分ごとに200円

土曜保育 1号子どもの場合（休日保育となり別途1日1000円利用料がかかります）

	8:00	9:00	13:00	18:00
	← 1時間ごとに200円 →	保育時間	← 1時間ごとに200円 →	10分ごとに200円

利用料は、一人日額単価×1か月利用日数を翌月おつかい袋（現金）にて請求させていただきます。階層（名古屋市保育料基準月額）によっては、いただかない場合もあります。

尚、月曜日から金曜日まで19時を超えますと10分ごとに200円 土曜日は、18時を超えますと10分ごとに200円いただきます。

短時間の保育の方は16時以降100円 さらに18時以降19時まで100円かかります。

※ 1号子どもの方は、希望保育日（長期休業中）、土曜保育（休日保育）は、別途利用料が1日1000円かかります。

(3) 保育において提供される便宜に要する費用

便宜に要する費用・・・当園では、教育・保育を提供するにあたり、必要となる物品の購入や行事への参加等に係る実費をお支払いいただきます。

(4) 当園の保育料、園費（主食費、父母の会費等）の集金方法は安全、確実な事務処理を行うためにゆうちょ銀行口座振替の集金とさせていただきます。確実な引き落としが出来ますよう、ご協力をお願いします。引落日は毎月27日（間に合わなかった場合翌月5日）となります。

※引落日金額が通常と異なる場合は、事前に書面にてご連絡させていただきます。

(5) 滞納があった場合の取扱について

上記に掲げる保育料等の支払いについて滞納があった場合には、過去のお支払い状況等を考慮し、当園の判断により原則として連続3か月滞納があった場合は、退園とさせていただきます。

便宜に要する費用（令和2年度予定）

クラス	項目	負担額	引落日
いちご組(0歳児)	父母の会費(月額)	300円	毎月27日
	園本代(年額)	4,560円	5月27日
ゆず組(1歳児)	父母の会費(月額)	300円	毎月27日
	園本代(年額)	5,280円	5月27日
	お誕生カード、れんらく帳	680円	5月27日
かりん組(2歳児)	父母の会費(月額)	300円	毎月27日
	園本代(年額)	4,440円	5月27日
	お誕生カード、れんらく帳	680円	5月27日
くり組(3歳児)	父母の会費(月額)	300円	毎月27日
	主食費、副食費(月額)	5,400円	毎月27日
	教材費(月額)	1,000円	毎月27日
	園本代(年額)	4,800円	5月27日
もも組(4歳児)	父母の会費(月額)	300円	毎月27日
	主食費、副食費(月額)	5,400円	毎月27日
	教材費(月額)	1,000円	毎月27日
	園本代(年額)	5,160円	5月27日
	用品代(お誕生カード、出席ノート、シール)	930円	5月27日
かき組(5歳児)	父母の会費(月額)	300円	毎月27日
	主食費、副食費(月額)	5,400円	毎月27日
	教材費(月額)	1,000円	毎月27日
	園本代(年額)	5,400円	5月27日
	れんしゅうもじ1冊	400円	5月27日
	用品代(お誕生カード、出席ノート、シール)	930円	5月27日
	プラネタリウム見学参加費	1,000円	8月27日
	お泊り保育参加費	1,000円	8月27日
	卒園アルバム積立金(10月～3月月額)	500円	毎月27日

※入園時には、別途 乳児 用品代 3,800円程度
 幼児 用品代 8,000円程度
 幼児 制服、体操服代 27,000円程度が必要となります。

4. 登降園

★あいさつをしましょう！（登園時・降園時）

1 日のはじまりを気持ちよく迎えるために、また翌日も元気になかよく遊べるように、大きな声で相手の顔を見てあいさつができるようにしましょう

登降園時間

登園 2・3号こども 9:00 までに 登園ください。
1号こども 8:45～8:55 の時間に登園ください。

降園 2・3号こども 申し込み時間にお迎えください。(短時間保育の方 16:00 迄に)
1号こども 15:00～15:10 の間にお迎えください。

★送迎時、保護者様がお子様の登降園をタッチパネル(玄関前)にてお知らせください。
各クラスごとにお子様の名前があるホルダーから IC カードを取り出し、カード読み取り機にかざし、登降園を完了してください。終わりましたらお名前のホルダーにおもどきください。

※ 入園時 1 枚目のカードは園の備品で準備させていただきますが紛失、破損した場合 1 枚 500 円にてご負担いただきますのでご了承ください。

★朝ごはんをしっかり食べて登園しましょう。

★平常の登園、降園につきましては防犯対策のため、正面玄関からの出入りを原則としております。また、送迎時間は車の通りが多くなりますので、お子さまの安全確保の為に必ず保護者付き添いによる園内までの送迎をお願いいたします。

★お部屋に入りましたらお子さんの朝の準備のお手伝いをお願いします。

登園時のお支度について

0～2 歳児・・・保護者様で毎日の荷物の整理を行っていただきます。

年少組・・・保護者の方と一緒に、自分で出来るよう練習していきます。

年中組・・・保護者の方に保育室まで付き添っていただきますが、朝の支度に関して手を出さず、子ども自身で行えるよう声かけのみのお手伝いをお願いします。

年長組・・・就学に向けて自立を促すため保護者の方は、玄関までの付き添いとさせていただきます。その際、お子様を笑顔で見送っていただきますようお願いいたします。

規則正しい生活習慣を身につけるためには毎日の積み重ねが大切です。

おはじまりの時間（9:00 まで）には遅れないように登園しましょう。

5. 服装について

★幼児クラス（かき 5 歳、もも 4 歳、くり 3 歳）

登園には原則として制服、体操服上下の着用をお願いします。また登降園の際には制服のボタンをかけ身だしなみを整えて登園、降園ができ、きちんと自分で着替えが出来る習慣をつけましょう。

夏季（6～9 月）の登園服は体操服・体操ズボンとカラー帽子で登園してください。登園後は園指定の体操服・スモックにて園内活動を行ないます。洗濯などで体操服上下で登園できない場合、白の T シャツ、紺のズボン（ジーパン不可）でご協力をお願いします。

行事の服装 制服 体操服上下（季節により白の長袖 T シャツ着用可
黒又は紺のハイソックス

★乳児クラス（かりん 2 歳、ゆず 1 歳、いちご 0 歳）

着脱のしやすい（ジーンズ類不可）私服登園とします。

※ヘアピン等の使用は園内での誤飲防止のため禁止ですので、髪の毛が長いお子さんは活動しやすいようにゴムなどでまとめてください。

6. 日常の持ち物について

★幼児クラス（かき 5 歳、もも 4 歳、くり 3 歳）

園のしおりでご確認ください平常保育の場合はハンカチ、ポケットティッシュ、出席ノート、お知らせばさみは毎日必ず確認して持ってきてください。また通園かばんにつけるキーホルダーにつきましては子ども同士のトラブルを防ぐため 1 個だけとさせていただきますが、紛失などの場合につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。

★乳児クラス（かりん 2 歳、ゆず 1 歳、いちご 0 歳）

クラス担任より説明をいたします。 詳細は学年別準備品 (P27～32) でご確認ください。

7. その他留意していただきたいこと

★入園時、園のしおりを配布いたします。準備していただくもの、登降園について健康については、詳しく記載してあります。必ずお読みください。

★家庭状況、住所変更または勤務状況など変更になった場合は必ず園までご連絡下さい。

★緊急時の第一連絡先は原則としてお勤め先とさせていただきますので、変更があった場合は必ずお知らせ下さい。

（家庭状況調査票には、お勤め先と携帯電話の番号を合せてご記入いただきます。）

★個人情報保持のため、無断で園児や園内の写真をインターネット上への掲載は、厳禁です。

★病児・病後児保育は、致しません。ご了承ください。

- ★不要品は持ってこないようにしてください。
- ★園でお渡しする手紙、配布物等については必ずお読みください。
- ★教材購入につきましては直接事務室までお声をおかけください。
- ★都合により転園・退園される場合は早めにこども園までご連絡下さい。
- ★お弁当の日がありますので、その際には手作りのお弁当をご用意ください。
(予定日は「園だより・クラスだより」にて連絡いたします。)
- ★お車での送迎の際には園指定の駐車場をご利用いただき、事故や近隣の迷惑にならないようにお気を付けてください。
- ★駐車場内での事故・トラブルにつきましては、責任を負いかねますのでご注意ください。

利用の終了に関する事項

園児が、次に該当する場合は、教育・保育の提供を終了するものとします。

- (1) 園児が小学校へ就学したとき。
- (2) 園児の保護者が、「子ども・子育て支援法」に基づく支給認定を受けられなくなったとき。
- (3) その他、当園の利用を継続することが困難な事由があるとき。
- (4) 園の運営上なされる園長の指示に再三にわたり従わないとき。または、その他退園させることが適当と理事長が認めたとき。
- (5) 3号認定の園児であって就労見込みで3か月が経過し、引き続き保育に欠ける家庭状況でない場合は、退園するものとする。ただし、2号認定の場合は、1号の利用定員に枠があれば、移ることができる。

9. 災害時の保育について

★ 入園後、メール配信システムに登録をお願い致します。(4月10日までに)

★ 暴風警報、暴風雪警報が発令された場合

- (1) 午前 6時の時点で暴風警報が発令されている場合、自宅待機とします。
- (2) 午前 11時00分までに解除の時は午後の保育を実施します。
13時00分以降に登園して下さい(昼食を済ませて)
- (3) 午前 11時を過ぎても、警報が解除されないときは引き続き自宅待機とします。
- (4) 保育中に発令された時は保育中止となります。安全に注意しながらお迎えに来て下さい。
園から直接保護者の方へ携帯電話にメール配信をいたします。園から携帯電話にメール配信いたしますが、時間によって連絡が間に合わない場合は登園された時にお伝えします。
※緊急時の連絡は、携帯電話にメール配信します。

★大雨、洪水、大雪警報の場合・・・平常の保育を行います

登園の際は、安全に注意して各ご家庭で判断してください。

避難準備・高齢者等の避難開始 地震発生時	避難指示 避難勧告 特別警報発令時
における対応について	

※避難準備・高齢者等避難開始・避難勧告・避難指示・特別警報発令時・地震発生時※※

- 1 在宅時に発表されたら
・警報が解除になるまで自宅で待機して下さい。
- 2 登降園途中に発令された場合
◎そのまま降園し、上記1の措置となります。
- 3 在園中に発令及び地震が発生した場合
・登園後に発令された場合、避難所まで避難させますので、お迎え場所を確認し、速やかにお迎えください。迎えにみえた保護者、または引き取り依頼者にお子さんを引き渡します。

報道機関やサイレンなどで、災害、地震注意情報の発表を知りましたら、一番早くこども園へお子さんを引き取りに来られる保護者、または、引き取り依頼者の方が園へ来ていただき、こども園[引渡し場所]で、担任または主任・園長に引き取りにみえた方の氏名をお知らせいただいた後、安全に注意しながらお帰り下さい。

※翌日以降、解除されるまでの間、臨時休園とします。

※※※※※※解除になったら※※※※※※	
解除の状況	保育について
午前 6時までに解除された時	通常の保育
午前 6時から午前 11時までに解除された時	午後の保育実施 13時00分以降に登園して下さい(昼食を済ませて)
午前 11時までに解除された時	当日の保育はいたしません。翌日より通常保育を行います。

災害伝言ダイヤル 171-2-052-736-6670

枠内の番号はこども園の番号です。

◎大地震が発生してしまった場合は、状況を確認し、第一避難場所もみじこども園、第二避難場所釜ヶ洞公園(保育園前の公園)、第三避難場所吉根中学校へ避難しますので災害伝言ダイヤルで確認し、安全な方法でお迎えをお願いいたします。

5. 安全対策と事故防止

職員は安全点検を実施し事故防止に備えます。まず、点検の対象になる建物、設備、ピアノ、整理棚など対象物ごとに点検すべき項目を検討して「設備点検チェックリスト」を作成し、各クラス担任が毎月1回点検を行います。

これにより、点検漏れを防ぐとともに、危険を生じやすい設備・備品等に気づき、事故防止を徹底します。

1. 事故発生時対応

1) ケガ、事故発生時対応マニュアル

怪我や事故が発生した場合に、迅速かつ適切な対応が行えるよう、職員全員が共通認識をもち、普段から対応できるようにフローチャートを作成しています。

2) 方向・判断・説明

怪我、事故発生時には応急手当を実施すると同時に、報告・連絡を行い、怪我の状態・程度・部位により医療機関を受診する必要性の有無の判断を的確に行います。怪我の状態では保護者様への連絡をさせていただき、同行をお願いする場合があります。

3) 事故記録・インシデント

実際に事故が起きた場合には、経緯・対応・処置・発生状況・受診記録・改善策を詳細に記録し、これらの記録をもとに、事故防止、安全対策について再検討し、以後の事故防止に努めます。

4) 安全教育

安全に行動する習慣・知識を育成し「保育計画」に盛り込みます。年齢や発達段階に応じて、判断力・体力・瞬発力等を養うために生活の仕方や遊び方を工夫した保育を実践します。

2. 再発防止・予防のために

1) 適切な報告と共有化（報・連・相）

- ・報告 … 日常的な報告・連絡・相談を全職員に徹底します。
- ・事故報告書…報告書は単に、出来事を記載し保存するためのものではなく、なぜ起きたのか、再発防止のためにはどうするのかを考え合う資料となります。
- ・インシデント…事故を未然に防ぐためにインシデントを自ら発見し事故を未然に防ぎます。
- ・報告の流れ … 報告書は園長や主任、他職員にも共有化し、報告を受けたものは、必ず、必要事項が事実に基づき記載されているか確認を行います。

3. 防犯のための措置

園児の登降園の出入り口は玄関（幼児組は、降園時園庭もあり）とさせていただきます。お迎えでは、入園時にご登録いただいた送迎者以外の方（乳児クラスは、毎日の連絡ノートに記入された方）以外には、園児をお引渡しできません。園児のお迎えを代理の方に依頼される場合は、保護者の方より事前の連絡が必要となります。

4. 虐待の防止のための措置

園児の人権の擁護、児童虐待の防止のため、虐待防止に関する責任者を選任するとともに職員に対し研修を実施します。

5. 非常災害対策

園では、避難訓練を火災及び地震を想定し毎月1回実地しております。
不審者防止訓練を年3回行っております。

非常災害用備蓄品 ・3日分飲料水・100食料品の用意

・各クラスの避難リュック

【懐中電灯 飲料水 粉ミルク（0歳児クラス）オムツなど】

6・衛生管理

当園では、以下の衛生管理を実施します。

1. 園児の保健衛生

1) 登園時

- ・視診 : 顔色、体調、表情等の健康状態を観察します。
- ・口頭確認 : 保護者様に家庭での様子を口頭で確認します。
- ・連絡ノート : 家庭での様子を確認します。
- ・検温 : 検温も含め園において子どもの体調を観察します。
- ・爪 : 爪が伸びていたら、保護者様に切っていただきます。

2) 保育中

- ・睡眠中 : 顔の表情や呼吸の状態を観察します。午睡中の乳児(0歳児クラスのお子様は午睡センサークミを使用)、授乳後風邪症状が見られるときには、特に細かく観察をします。
- ・食事中 : 食欲の有無などから健康状態を観察把握します。咀嚼(噛む)や嚥下(飲み込む)が上手くいかない状況が認められる場合には家庭とも連携を図りながら問題を改善していきます。

3) 身体測定

- ・実施回数 : 毎月身長、体重を測定し記録します。
- ・実施結果 : 保護者様が発育状況を把握できるよう努めます。

カウプ指数の計算を行い太りすぎ、太り過ぎの園児には保護者様にもわかりやすくカウプ指数表をお渡しいたします。(4月・10月)

4) 定期健診

- ・実施回数 : 内科検診 年2回 (5・10月) 実施いたします。
- : 歯科検診 年2回 (6・11月) 実施いたします。

※ 内科検診の日に欠席されますと後日、各ご家庭にて愛知クリニックへ検診に行ってください。

※ 歯科検診日に欠席されましても後日、検診に行ってください。ことではありません。気になる方はかかりつけ医に診ていただいて下さい。

- ・学校医 : 内科 … 愛知クリニック 小川 弘恒 052-736-5511
- : 歯科 … 前川歯科 前川 佳徳 052-736-6363
- : 薬剤師 … かりん薬局 實岡 朝美 052-739-5443

2. 実施の保健衛生

1) 消毒

園が定める「消毒方法」で、園内の消毒及び清掃を行います。

- ・手洗い、室内(窓、ロッカーなど)、手洗い場、玩具、トイレ(室内、外)

2) 衛生管理

園内の消毒及び清掃を毎日行う。

3. 感染症対策

当園では、厚生労働省(保育所における感染症対策ガイドライン)に基づき感染症対策を行います。

1) 早期発見

- ・早期発見 : 日頃から健康診断や観察により子どもの状態について正常時の状態把握をし、異常を早期発見します。
- ・確認時 : 感染症の疑いが1%でもあれば、保護者様にご連絡をしてお迎えをお願いします。

2) 感染症の発生時

- ・保護者様からの連絡 : 医師より「感染症」と診断された場合は、保護者様より園へ速やかにご連絡ください。保護者様からご連絡を受けた後、園では迅速に対応します。

①屋外掲示板に「発症日」と「病名」を掲示する。

②他の保護者様にも把握が出来るようにします。

※ 感染症の流行時期に入りましたら、熱が38.0℃以下でもお迎えの電話をさせていただきます。

※ 熱性けいれんをお持ちのお子さまにつきましては、感染症の有無にかかわらず熱が37.5℃でお迎えの電話をさせていただきます。

◎ お仕事をされてお忙しいとは思いますが、ご協力をお願いいたします。

◎ 集団生活の場ですので降園、早退時または登園前日に熱が38度以上ありましたら各ご家庭もしくは病後児保育の利用をお願いします。無理のないようゆっくりとお過ごしください。

3) 登園の再開

- ・医師の許可が出て保護者様が記載する「登園届」または、医師のサインが入った「意見書」(治療証明書)を事務所に提出され、登園の再開となります。

登園の際、提出をされませんとお子さまのお預かりは出来ませんので、お引き取りいただくことになります。

登園の際は、必ずお忘れのないよう提出をしてください。

※ ご不明な点がありましたら、園までご連絡ください。

4) 感染症への配慮

- ・施設衛生管理 : 施設内の衛生管理を実施します。
- ・研修 : 保育者、調理師、看護師は衛生管理の研修に参加します。
- ・検便 : 園長、保育主任、乳児担任、看護師、調理師、子育て支援担当者は毎月検便を行います。幼児担任、事務員は年2回(6月・12月)検便を実施します。
- ・手洗い : 園児および全職員に対して石鹸による手洗いを徹底し、各クラスにアルコール消毒も常設しています。

・園児の蟯虫検査: 2017年度よりプール前の蟯虫検査は廃止になりました。

1. 提出書類について

「予防接種記録票」には入園前、進級前の情報をすべて記入してください。
「予防接種記録票」「既往歴表」「家庭環境調査票」は毎年、年度末（3月）にお渡しいたしますので、ご記入の上、4月10日までに提出してください。
新入園児につきましては入園式当日に提出をお願いいたします。
「予防接種と対象年齢」は別紙参照してください。

2. 薬の受け渡し

投薬については、安全確保と事故防止のため原則、お預かりは出来ません。ただし、感染症診断で溶連菌と診断されたときと慢性疾患により、やむを得ない場合には、看護師もしくは保育者が代わりに行います。その際は、お薬の説明書のコピーと園指定の「投薬依頼書」の記入提出をお願いいたします。

薬の「受渡し」は必ず「手渡し」で行ってください。カバンの中に入れっぱなし、おたより帳に挟んだまま、事務所や保育室等の机に置いて行ったりした際は誤飲事故につながりますので、与薬は出来ません。

風邪薬やリップクリーム等の市販薬はお預かりできません。

病院処方の風邪薬、中耳炎による抗生物質等のお預かりもできません。

※ 病院にてお薬の処方をしていただく際は園に通っていることをお伝えしてください。

1日3回 服用（朝・昼・夜） → 1日3回 服用（朝・夜・寝る前）
もしくは 1日2回 服用（朝・夜）
にさせていただきます。

※ 慢性疾患

心臓病、腎臓病、腸閉塞、アレルギー（アトピー・花粉症）等の診断で病院による処方薬に限りお薬のお預かりをいたします。ただし、ステロイド薬、市販薬のお預かりは出来ません。

ご不明な点がありましたら看護師、保育者にお尋ねください。

3. 食物アレルギーをお持ちのお子さまについて

※食物アレルギーをお持ちのお子さまは入園式に担任もしくは看護師にお知らせしてください。園指定の除去食指示書の提出をお願いします。（医師が記入）

※エピペンをお持ちのお子さまについても隠さず、申し出てください。

エピペンをお預かりするにあたり、保護者様の同意書をいただきます。

・園内、園外にてアレルギー症状が出てしまいエピペンを使用する際は、保護者様に連絡をさせていただきます。が、エピペン使用は緊急を要することですのでエピペン使用後に連絡させていただくこともあります。エピペン使用をした際は、救急車にて病院搬送をさせていただきます。申し訳ありませんが搬送先の病院まで来ていただきます。

病気・投薬・予防接種について

◎病気について

- 1) 毎日のお子さまの体調変化にはご家庭でも十分気を配ってくださっていることと思いますが、異常のある時は、早めに医師に診てもらうようにしましょう。
- 2) 排便は精神的安定を与えます。毎朝、登園前に済ませる習慣をつけましょう。
- 3) お子さまの様子に普段と異なった点がありましたら、登園時に担任まで知らせ下さい。
- 4) お子さまの体調がすぐれないときは、園への欠席連絡とともに、早めに医師の診察を受け、回復するまで各ご家庭もしくは病後児保育を利用し療養してください。

※ 遅刻、欠席連絡は必ず、朝9時までにお願いします。

5) 登園時の注意事項

【ご家庭での様子】

昨夜熱があった、ご家庭で怪我をしたなどの健康上に変わったことがあれば、登園時に必ずお知らせください。また、病院受診をした場合は、病名と症状もお知らせください。

【登園しても大丈夫…？】

病気や怪我の後に登園されるときは、医師に「こども園に通っている」ことを話し、登園してよいか確認してください。病気や怪我の内容によっては園規定の診断書が必要となります。

また、持病のある子どもさんは、必ず入園の際にお知らせください。
（アレルギー、喘息、痙攣、ヘルニア、脱腸、脱臼等）

- 6) 保育中に体調が悪くなったときは、早めに連絡をさせていただきます。全身状態を見て、熱がなくても連絡をさせていただくこともありますのでご了承ください。

7) 感染症について

感染症と診断されたときは、他の子どもさんや職員にもうつりますのでお休みをしていただきます。治って、登園する場合には医師に登園の可否をお尋ねください。

また、感染症が出た場合は、屋外掲示板にてお知らせをいたします。

うつしあわないようお互いにマナーを守りましょう。

8) 登園停止となる病気について

- 9) 【子どもの病気の登園基準】または【こども園における感染症の登園基準一覧表】にある病気と診断された場合は、医師に登園の可否を確認してください。

ご不明な点がございましたら、園へ登園の連絡確認をしてください。

- 10) ご家族内で感染症診断を受けられましたら、感染症拡大を防ぐためにマスクの着用をお願いします。

- 11) 次ページ、感染症の場合は登園できません。園指定の「登園届」または「医師の意見書」の提出をお願いします。

※ 厚生労働省が定める感染症

「医師の意見書または病院指定の治癒証明書」

- ・麻疹(はしか)
- ・インフルエンザ
- ・風疹
- ・水痘(水ぼうそう)
- ・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
- ・結核
- ・咽頭結膜炎(プール熱)
- ・流行性角結膜炎
- ・腸管出血性大腸菌感染症(Ｏ１５７, Ｏ２６, Ｏ１１１など)
- ・百日咳
- ・急性出血性結膜炎
- ・髄膜炎菌性髄膜炎

「登園届または病院指定の治癒証明書」

- ・溶連菌(抗菌薬内服後２４時間以上経過していること)
- ・マイコプラズマ肺炎(発熱や激しい咳が治まっていること)
- ・手足口病(口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること)
- ・伝染性紅斑(リンゴ病)(全身状態が良いこと)
- ・ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ等)
(嘔吐、下痢が治まり普段の食事がとれること)
- ・ヘルパンギーナ(口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること)
- ・ＲＳウイルス
- ・带状疱疹
- ・突発性発疹

※ 「登園届」もしくは「医師による意見書」の詳細は別紙参照。

園のしおりに挟まれている用紙をコピーしていただくか、園にも用紙を用意していますので取りに来ていただきます。保護者様による記載、もしくは医師による記載をしていただき登園の際、提出をしてください。

※ 病気により入院または肺炎疑いなどの診断で自宅療養をされますと園指定の「治癒証明書」もしくは「退院証明書」または病院指定の治癒証明書の提出が必要となります。

※ 病気により事前に入院が決まっていれば、お知らせください。登園中に治癒証明書をお渡しいたします。

※ 夜間、もしくはお休み中に病気や怪我により救急搬送され入院した際は、園へ連絡をください。

※ 登園の際、いずれの書類の提出がありませんと登園は出来ません。お引き取りいただくこととなりますので、お忘れのないようお願いいたします。

投薬依頼書について

保護者様各位

- 1 主治医の診察を受けるときには、お子さまが現在、こども園に在園していること及び園では原則として薬の使用が出来ないことをお伝えの上、なるべく朝・夕の２回で服薬が済むように主治医にお伝えください。それが出来ない場合は１日３回で朝・夕・寝る前の処方をお願いしてください。
- 2 感染症診断で溶連菌と診断された場合のみお薬のお預かりをいたしますが、その際は、お薬の説明書のコピーと投薬依頼書の記入、提出をお願いいたします。
- 3 投薬依頼書は事務所にありますので事務所にて記入をお願いいたします。
- 4 本来は保護者の方が登園して投薬をしていただくのが原則ですが、やむを得ない場合(慢性疾患)のみ、看護師もしくは担任が投薬を行います。
- 5 薬は医師が処方し調剤されたものに限りません。市販薬のお預かりは出来ません。
- 6 リップクリームのお預かりも出来ません。
- 7 「とびひ」による塗り薬のお預かりも致しません。自宅にてできる範囲での処方をしていただいて下さい。
- 8 座薬の使用は原則として行いません。熱性けいれん等でやむを得ず使用する場合は医師からの具体的指示を添付してください。
- 9 初めて使用する座薬については対応できません。
- 10 熱が出たら飲ませてください」「咳が出たら飲ませてください。なめさせてください」「発作が出たら〇〇してください」等の対応は原則として行っていません。
- 11 慢性疾患(心臓病、腎臓病、腸閉塞、アトピー性皮膚炎、花粉症など)による日常生活において投薬を必要とされる場合は、お子さまの主治医指示のもと園と保護者の方と話し合いを行い、相互の連携が必要となります。
- 12 家庭から持参する薬について
 - (1) 医師が処方した薬には必ず「投薬依頼書」と「お薬の説明書」が必要です。
 - (2) 薬には必ずクラスと園児名を書き職員に直接、手渡ししてください。
 - (3) 薬(水薬も含む)は一回ずつに分けて持参してください。
 - (4) アトピー性皮膚炎、花粉症診断のついているお子さまについてはお薬のお預かりが出来ますがステロイドの入ったお薬はお預かりすることが出来ません。喘息の吸入やアレルギーなどのスプレー(噴霧剤)のお預かりも出来ません。
 - (5) 食物アレルギーをお持ちのお子さまでアレルギー症状が出た時に飲まれるお薬の処方がある方は１回分のみお預かりをします。ただし、アレルギー症状が出て服用が必要な時は保護者様に連絡をし、服薬の確認をいたします。服薬の有無確認後は、申し訳ありませんがお迎えに来ていただくこととなります。
 - (6) 食物アレルギーや慢性疾患をお持ちのお子さまにつきまして災害時用に、２日分のお薬のお預かりをしたいと思います。

7. 苦情処理

当園における苦情やご相談は以下の窓口で受け付けます。

① 苦情の受付

保護者様の苦情については、面接・電話・書面などの方法により、苦情受付担当が受け付けます。

② 苦情解決の記録、報告、確認 話し合い

苦情受付担当が受け付けた苦情は、苦情解決責任者が苦情申し出人と誠意をもって話し合いその解決に努めます。その際苦情申し出人は、第三者委員の助言や立ち合いを求めることができます。

③ 決結果の公表

苦情解決に至るまでの記録を残し苦情内容及びその解決については、苦情申立人が拒否された場合を除き書面に報告します。

当 園 苦 情 相 談 窓 口	苦情解決責任者 園長 大塚 裕子 苦情受付担当者 主任 石川 千夏 第三者委員 吉根学区主任児童委員 洪城 美和
名古屋市社会福祉協議会 福祉サービス苦情相談センター	名古屋市北区清水四丁目17番1号 電 話 052-910-7976 FAX 052-910-7977 <受付> 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝・年末年始を除く)

8. 個人情報の使用について

当園では、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」の定めるところに従い、個人情報の適切な取り扱いに努めてまいります。取得したお子様や保護者個人情報は、下記の目的のために利用させていただきます。

なお、ここでいう個人情報とは、お子様の氏名・生年月日や肖像など、その情報単独または、他の情報との参照によって、生存する個人を特定することのできるすべての情報を示します。

① 保育サービスの提供及び向上

② 保育料等の請求及び収受、毎日の入退管理、お子様の安全管理、健康管理等、日常の園児管理全般

③ 園だより・クラスだよりや各種の展示物、ホームページ、メール配信等、日ごろの園生活やお子様の様子を内外に伝えるための情報提供(報道等の取材を含む)

④ 各種学術団体・保育団体・自治団体における作品展、研究発表など

入園後、承諾書をご提出していただきます。

個人情報の使用について

保護者及び園児並びにその家族に係る個人情報について、以下の目的のために必要最小限の範囲内において使用することがあります。

- (1) 小学校への円滑な移行が図れるよう、卒園に当たり入学する予定の小学校との間で情報を共有すること
- (2) 他の保育園等へ転園する場合、その他きょうだいがべつの施設等に在籍する場合において、他の施設とのあいだで必要な連絡調整をおこなうこと。
- (3) 緊急時において、病院その他関係機関に対し必要な情報提供をおこなうこと

0 歳児 服装・持ち物準備品

服装 私服(動きやすい物・着脱のしやすいもの)			
靴 (歩きやすく、履かせやすいもの サンダル・ブーツ・ルームシューズは不可) ※必要な時期にお知らせします			
上着 (冬用ジャンパーなど・フードのないもの)			
毎日の持ち物(手提げかばんに以下の物を入れてご持参ください)B4サイズの物が入るマチ付き)			
	口ふきタオル	ハンドタオル(30cm×30cm)ぐらいのもの	3枚
	タオルで作ったエプロン	ハンドタオルの一辺を折って縫い、ゴムを通したもの	3枚
	ガーゼ	ミルクを飲む子のみ	回数分
	スーパーの袋	汚物入れ(オムツ)と汚れ物入れ	2枚
	紙オムツ又は布オムツ	オムツのおしり側に名前をお書きください(前日使用した枚数の補充してください)	数枚
	おたより帳		
	おたよりばさみ		
	靴下	歩行のできる子	
	着がえ一式	肌着・上着・ズボン	一組
園で保管する物 持ち帰りがありましたら翌日必ず補充をお願いします。			
	肌着	ロンパースは不可	3枚
	上着	フードつきの服・つなぎの服・スカート・チュニック・ワンピース不可	3枚
	ズボン	ウエストがゴムの物	3枚
	フェイスタオル		1枚
	おしりふき(ケースなし)・ビニール袋	ウェットティシュタイプ ※使用済みオムツが1枚ずつ入るビニール袋1箱(M・L)	2/パック
	紙オムツ又は布オムツ		10枚
	哺乳瓶(乳首付・ふた付)		
	● 布団一式(枕なし)	掛 97cm×120cm 敷 66cm×130cm程度の大きさ	
	○ パジャマ	前開き・前ボタンのもの(大きめのボタン)	1枚
	バスタオル		1枚
	★ スモック	長袖で着脱しやすいもの	1枚
	● カラー帽子		1
	防災ずきん	6年間使用しますので幼児用でご用意ください	
※ ●は 金曜日に持ち帰り、シーツなどは、洗濯し、月曜日にお持ちください。 掛け布団は、夏場は、タオルケット、冬場は毛布などをご用意ください。(使用時期がきましたら連絡いたします) ※ ○は 水曜日、金曜日持ち帰りますのでお洗濯してお持ちください。 ※ ★は 使用した時に持ち帰ります。お洗濯してお持ちください。			
新学期に集めるもの			
	ティシューペーパー	共同で使用しますので記名は、いりません	3箱
	雑巾		3枚
お願い			
・ 身に付ける物やタオルなどは毎日清潔な状態を心がけてください。 ・ 汚物は、毎日お持ち帰りください。 ・ 衣類は、着脱しやすいもの動きやすい物、柔らかい素材をご用意ください。(ジーパン生地・スカートは不可) ・ フードつきの衣類は、遊具に引っかかると危険なためご遠慮ください。 ・ 髪の毛の長いお子様は、毎日必ず結んで登園ください。 ・ 持ち物・衣類など、全ての物(スーパー袋などにも)に名前をお書きください。(登園時履いている物も含め) ・ お子様の清潔を保つために毎日一度は服を全て着替えます。毎日着替えを持ってきていただきストック分を必ず、ご確認ください。 ・ 園内は、空調管理がされております。なるべく薄着での登園をお願いします。			

1 歳児 服装・持ち物準備品

服装 私服(動きやすい物・着脱のしやすいもの)			
靴 (歩きやすく、履かせやすいもの サンダル・ブーツ・ルームシューズは不可)			
上着 (冬用ジャンパーなど ・フードのないもの 前チャックの物 ボタン不可))			
毎日の持ち物(手提げかばんに以下の物を入れてご持参ください)B4サイズの物が入るマチ付き)			
	口ふきタオル		3枚
	タオルで作ったエプロン	ハンドタオルの一辺を折って縫い、ゴムを通したもの	3枚
	ループ付きお手拭きタオル		1枚
	スーパーの袋	汚物入れ(オムツ)と汚れ物入れ	2枚
	紙オムツ又は布オムツ	オムツのおしり側に名前をお書きください (前日使用した枚数分の補充してください)	数枚
	※トレーニングパンツ	※ 個人差があります。使用する前にご連絡します。	
	おたよりばさみ お便り帳		
	靴下		
	着がえ一式	肌着・上着・ズボン	一組
園で保管する物 持ち帰りがありましたら翌日必ず補充をお願いします。			
	肌着	ロンパースは不可	2枚
	上着	フードつきの服・つなぎの服・スカートは不可	2枚
	ズボン	ウエストがゴムの物	2枚
	靴下		1足
	おしりふき(ケースなし)・ビニール袋	ウェットティシュタイプ ※使用済みオムツが1枚ずつ入るビニール袋1箱 (M・L)	1パック
	紙オムツ又は布オムツ		10枚
	※トレーニングパンツ	※ 個人差があります。使用する前にご連絡します。	3枚
	フェイスタオル	排泄の失敗時や汚れた身体を拭きます	1枚
	○ パジャマ	前開き・前ボタンのもの(大きめのボタン)	1枚
	★ スモック	長袖で着脱しやすいもの	1枚
	● 布団一式(枕なし)	掛 97cm×120cm 敷 66cm×130cm程度の大きさ	
	● カラー帽子		1
	防災ずきん	5年間使用しますので幼児用でご用意ください	
※ ●は 金曜日に持ち帰り、シーツなどは、洗濯し、月曜日にお持ちください。 掛け布団は、夏場は、タオルケット、冬場は毛布などをご用意ください。(使用時期がきましたらお知らせいたします) ※ ○は 水曜日、金曜日持ち帰りますのでお洗濯してお持ちください。 ※ ★は 使用した時に持ち帰ります。お洗濯してお持ちください。			
新学期に集めるもの			
	ティッシュペーパー	共同で使用しますので記名は、いりません	3箱
	雑巾		3枚
お願い			
・身に付ける物やタオルなどは毎日清潔な状態を心がけてください。 ・汚物は、毎日お持ち帰りください。 ・衣類は、着脱しやすいもの、動きやすいもの、柔らかい素材をご用意ください。(ジーパン生地・スカートは不可) ・フードつきの衣類は、遊具に引っかかると危険なためご遠慮ください。 ・髪の毛の長いお子様は、毎日必ず結んで登園ください。 ・持ち物・衣類など、全ての物(スーパー袋などにも)に名前をお書きください。(登園時履いている物も含め) ・お子様の清潔を保つために毎日一度は服を全て着替えます。毎日着替えを持ってきていただきストック分を必ず、ご確認ください。 ・園内は、空調管理がされております。なるべく薄着での登園をお願いします。			

2 歳児 服装・持ち物準備品

服装	私服(動きやすい物・着脱のしやすいもの)		
靴	(歩きやすく、履かせやすいもの サンダル・ブーツ・ルームシューズは不可)		
上着	(冬用ジャンパーなど・フードのないもの 前チャックの物 ボタン不可))		
毎日の持ち物(手提げかばんに以下の物を入れてご持参ください)B4サイズの物が入るマチ付き)			
	口ふきタオル		3枚
	タオルで作ったエプロン	ハンドタオルの一端を折って縫い、ゴムを通したもの	3枚
	ループ付きお手拭きタオル		1枚
	スーパーの袋	汚物入れ(オムツ)と汚れ物入れ	2枚
	紙パンツ又はトレーニングパンツ	オムツのおしり側に名前をお書きください (前日使用した枚数分補充してください)	数枚
	おたより帳		
	おたよりばさみ		
	靴下		1足
	着がえ一式	お昼寝後に着る物	一組
園で保管する物 持ち帰りがありましたら翌日必ず補充をお願いします。			
	肌着		2枚
	着がえ上下	フードつきの服・つなぎの服・スカートは不可・ズボンは、ウエストがゴムの物	2組
	靴下		2足
	フェイスタオル	排泄の失敗時や汚れた身体を拭きます	1枚
	おしりふき(ケースなし)・ビニール袋	ウェットティシュタイプ ※使用済みオムツが1枚ずつ入るビニール袋1箱(M・L)	1パック
	紙パンツ(布パンツ)	紙パンツ6枚・布パンツ2枚(パンツトレーニングは始めている子)	
	● カラー帽子		
	● 布団一式(枕なし)	掛 97cm×120cm 敷 66cm×130cm程度の大きさ	
	○ パジャマ	ボタン練習のため前開き・前ボタンのもの(大きめのボタン)	1枚
	★ スモック	長袖で着脱しやすいもの	1枚
	防災ずきん	4年間使用しますので幼児用でご用意ください	1
	スーパーの袋	汚れ物を入れる用	3枚
※ ●は 金曜日に持ち帰り、シーツなどは、洗濯し、月曜日にお持ちください。 掛け布団は、夏場は、タオルケット、冬場は毛布などをご用意ください。(使用時期がきましたらお知らせいたします) ※ ○は 水曜日、金曜日持ち帰りますのでお洗濯してお持ちください。 ※ ★は 使用した時に持ち帰ります。お洗濯してお持ちください。			
新学期に集めるもの			
	ティッシュペーパー	共同で使用するので記名は、いりません	3箱
	雑巾		3枚
お願い			
・ 身に付ける物やタオルなどは毎日清潔な状態を心がけてください。 ・ 汚物は、毎日お持ち帰りください。 ・ 衣類は、着脱しやすいもの、動きやすいもの、柔らかい素材をご用意ください。(ジーパン生地・スカートは不可) ・ フードつきの衣類は、遊具に引っかかると危険なためご遠慮ください。 ・ 髪の高いお子様は、毎日必ず結んで登園ください。 ・ 持ち物・衣類など、全ての物(スーパー袋などにも)に名前をお書きください。(登園時履いている物も含め) ・ お子様の清潔を保つために毎日一度は服を全て着替えます。毎日着替えを持ってきていただきストック分を必ず、ご確認ください。 ・ 園内は、空調管理がされております。なるべく薄着での登園をお願いします。			

3 歳児 服装・持ち物準備品

服装	体操服(上下)に制服で登園 (6月～10月 カラー帽子・体操服で登園) 5月、10月は、移行期間です。気温に応じて制服の着用を判断してください。		
靴	運動靴(自分で着脱しやすいもの サンダル・ブーツ不可)		
上着	冬用コート(フードのないもの)		
毎日の持ち物 (自分のカバンがわかるように目印《キーホルダーなど》を1つお付け下さい)			
	おたよりばさみ	メモ帳(ミニノート)をはさんでください。担任へ連絡したいこと担任から伝えたいことを	
	出席ノート	書くものです。必ず目を通していただき、確認印をお願いします。	
	ループ付きお手拭きタオル		1枚
	コップ・箸・箸箱	給食袋(◎布製の巾着袋)に入れてもってきてください。コップ・箸箱を出し入れしやすい少し大きめのものをお願いします。	
	ハンカチ・ティシュ	必ず、記名し体操ズボンに入れて下さい。	
	カラー帽子	使用した日は持ち帰ります。必ずお洗濯し 翌日持ってきてください。	
	着がえ上下	肌着・上着・ズボン 午前の活動や昼食で汚れるので毎日着替えます	一組
月曜日(週の初めに)持ってくるもの			
	● 布団一式(枕なし)	掛 97cm×120cm 敷 66cm×130cm程度の大きさ	1枚
	○ パジャマ	前開き・前ボタンのものをパジャマ袋(出し入れしやすい大きさ)に入れてご用意ください	
	上靴	上靴袋をご用意していただき、入れて下さい。	
	★ スモック	長袖で着脱しやすいもの	1枚
	手提げカバン	B4サイズの物が入る大きさをマジックテープかホックがある物。(上記の物を入れて登園)	
※ ●は 金曜日に持ち帰り、シーツなどは、洗濯し、月曜日にお持ちください。 掛け布団は、夏場は、タオルケットなど(使用時期がきましたら連絡いたします) ※ ○は 水曜日、金曜日持ち帰りますのでお洗濯してお持ちください。 ※ ★は 使用した時に持ち帰ります。お洗濯してお持ちください。			
園で保管する物 ※☆は持ち帰りがありましたら翌日必ず補充をお願いします。			
	お道具箱一式・自由画帳	クレヨン・はさみ・のり・粘土・粘土ケース・粘土板	
	ビニール袋	M・Lサイズでご用意ください	1箱
	防災ずきん	3年間使用しますので幼児用でご用意ください	
	☆パンツ・肌着・靴下		各2枚
	☆体操服上下(予備)	体操服上下がない場合。上は白・下はポケットが前か横にある黒か紺の物。	
	☆薄手のタオル	排泄の失敗時や汚れた身体を拭きます	
	☆スーパーの手提げ袋	記名した物。汚れたものを持ち帰ります	3枚
	☆ハンカチ・ティシュ	忘れたときの予備	1組
新学期に集めるもの			
	ティッシュペーパー	共同で使しますので記名は、いりません	1箱
	雑巾		2枚
お願い			
・ 体操服(半袖)の下に長袖Tシャツを着る場合は、白い物でお願いします。行事の時は黒か紺のハイソックスを履きます。 ・ 持ち物・衣類には、全ての物(スーパー袋など)に名前をお書きください。 ・ 髪の高いお子様は、毎日必ず結んで登園ください。 ・ フードつきの衣類は、遊具に引っかかり危険なため、ご遠慮ください。 ・ お子様の清潔を保つために毎日一度は服を全て着替えます。 ◎ コップ袋の目安 20cm×25cm 紐長めで(かけて置いておきます) ◎ パジャマ袋の目安 35cm×40cm 両サイド紐で引っ張るタイプ のり補充 1回¥50 クレヨン1本¥65 自由画帳1冊 ¥280 で購入できます。			

4 歳児 服装・持ち物準備品

服装	体操服(上下)に制服で登園 (6月～10月 カラー帽子・体操服で登園) 5月、10月は、移行期間です。気温に応じて制服の着用を判断してください。		
靴	運動靴(自分で着脱しやすいもの サンダル・ブーツ不可)		
上着	冬用コート(フードのないもの)		
毎日の持ち物 (自分のカバンがわかるように目印《キーホルダーなど》を1つお付け下さい)			
	おたよりばさみ	メモ帳(きりはなさいもの)をはさんでください。担任へ連絡したいこと担任から伝えたいこと	
	出席ノート	とを書くものです。必ず目を通していただき、確認印をお願いします。	
	ループ付きお手拭きタオル		1枚
	コップ・箸・箸箱・歯ブラシ	給食袋(◎布製の巾着袋)に入れてもってきてください。コップ・箸箱を出し入れしやすい少し大きめのものをお願いします。	
	ハンカチ・ティシュー	必ず、記名し体操ズボンに入れて下さい。	
	カラー帽子	使用した日は持ち帰ります。必ずお洗濯し 翌日持ってきてください。	
	(夏季) 水筒	ストロータイプ不可。必ずコップ付きで紐がついている物。降園時は空にして持ち帰ります。	
月曜日(週の初めに)持ってくるもの			
	上靴	上靴袋をご用意していただき、入れて下さい。	1枚
	スモック	長袖で着脱しやすいもの	
	●(夏季) 午睡セット	バスタオル2枚を1つの手提げ袋に入れ(紙袋不可)に入れてお持ちください。	1セット
	手提げカバン	B4サイズの物が入る大きさにマジックテープかホックがある物。(上記のものを入れて登園)	
※● は、午睡時に使用します。			
園で保管する物 ※☆はロッカーのカゴの中に入るものです。持ち帰りがありましたら翌日必ず補充をお願いします。			
	お道具箱一式	クレヨン・はさみ・のり・粘土・粘土ケース・粘土板	
	自由画帳		1冊
	防災ずきん	2年間使用しますので幼児用でご用意ください。	
	筆箱(鉛筆B3本・消しゴム)	消しやすい消しゴムをご用意ください。(使用する前に連絡します)	
	☆パンツ・肌着・靴下		各2枚
	☆体操服上下(予備)	体操服上下がない場合。上は白・下はポケットが前か横にある黒か紺の物。	
	☆薄手のタオル	排泄の失敗時や汚れた身体を拭きます	
	☆スーパーの手提げ袋	記名した物。汚れたものを持ち帰ります	3枚
	☆ハンカチ・ティシュー	忘れたときの予備	1組
新学期に集めるもの			
	ティシューペーパー	共同で使用しますので記名は、いりません	1箱
	雑巾		2枚
お願い			
- 体操服(半袖)の下に長袖Tシャツを着る場合は、白い物をお願いします。 - 持ち物・衣類には、全ての物(スーパー袋など)に名前をお書きください。 - 髪の毛のお子様は、毎日必ず結んで登園ください。 - 園の持ち物には、シールなど貼らないようにしてください。 - お子様の清潔を保つために汚れたら服を着替えます。 - 行事の時は、黒か紺のハイソックスを履きます			
◎ コップ袋の目安 20cm×25cm 紐長めで(かけて置いておきます) のり補充 1回¥50 クレヨン1本¥65 自由画帳1冊 ¥280 で購入できます。			

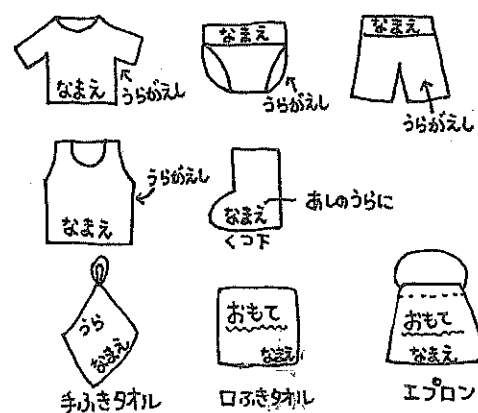
5 歳児 服装・持ち物準備品

服装	体操服(上下)に制服で登園 (6月～10月 カラー帽子・体操服で登園) 5月、10月は、移行期間です。気温に応じて制服の着用を判断してください。		
靴	運動靴(自分で着脱しやすいもの サンダル・ブーツ不可)		
上着	冬用コート(フードのないもの)		
毎日の持ち物 (自分のカバンがわかるように目印《キーホルダーなど》を1つお付け下さい)			
	おたよりばさみ	メモ帳(きりはなさいもの)をはさんでください。担任へ連絡したいこと担任から伝えたいこと	
	出席ノート	とを書くものです。必ず目を通していただき、確認印をお願いします。	
	ループ付きお手拭きタオル		1枚
	コップ・箸・箸箱・歯ブラシ	給食袋(◎布製の巾着袋)に入れてもってきてください。コップ・箸箱を出し入れしやすい少し大きめのものをお願いします。	
	ハンカチ・ティシュー	必ず、記名し体操ズボンに入れて下さい。	
	カラー帽子	使用した日は持ち帰ります。必ずお洗濯し 翌日持ってきてください。	
	(夏季) 水筒	ストロータイプ不可。必ずコップ付きで紐がついている物。降園時は空にして持ち帰ります。	
月曜日(週の初めに)持ってくるもの			
	上靴	上靴袋をご用意していただき、入れて下さい。	1枚
	スモック	長袖で着脱しやすいもの	
	●(夏季) 午睡セット	バスタオル2枚を1つの手提げ袋に入れ(紙袋不可)に入れてお持ちください。	1セット
	手提げカバン	B4サイズの物が入る大きさにマジックテープかホックがある物。(上記のものを入れて登園)	
※● は、午睡時に使用します。			
園で保管する物 ※☆はロッカーのカゴの中に入るものです。持ち帰りがありましたら翌日必ず補充をお願いします。			
	お道具箱一式	クレヨン・はさみ・のり・粘土・粘土ケース・粘土板	
	自由画帳		1冊
	防災ずきん	年間使用しますので幼児用でご用意ください。	
	筆箱(鉛筆B3本・消しゴム)	消しやすい消しゴムをご用意ください。	
	☆パンツ・肌着・靴下		各2枚
	☆体操服上下(予備)	体操服上下がない場合。上は白・下はポケットが前か横にある黒か紺の物。	各2枚
	☆薄手のタオル	排泄の失敗時や汚れた身体を拭きます	1枚
	☆スーパーの手提げ袋	記名した物。汚れたものを持ち帰ります	3枚
	☆ハンカチ・鼻紙・バンダナ	忘れたときの予備	1組
新学期に集めるもの			
	ティシューペーパー	共同で使用しますので記名は、いりません	1箱
	雑巾		2枚
お願い			
- 体操服(半袖)の下に長袖Tシャツを着る場合は、白い物をお願いします。 - 持ち物・衣類には、全ての物(スーパー袋など)に名前をお書きください。 - 髪の毛のお子様は、毎日必ず結んで登園ください。 - 園の持ち物には、シールなど貼らないようにしてください。 - お子様の清潔を保つために汚れたら服を着替えます。 - 行事の時は、黒か紺のハイソックスを履きます ◎ コップ袋の目安 20cm×25cm 紐長めで(かけて置いておきます) のり補充 1回¥50 クレヨン1本¥65 自由画帳1冊 ¥280 で購入できます。			

乳児組 <名前について>

持ち物・着替えの全てにわかりやすく記名をして下さい。

衣類につきましてはお子さまの成長を見通し、子どもたち自身が前後ろの確認ができるよう下記の位置に記名をして頂きますようお願いいたします。

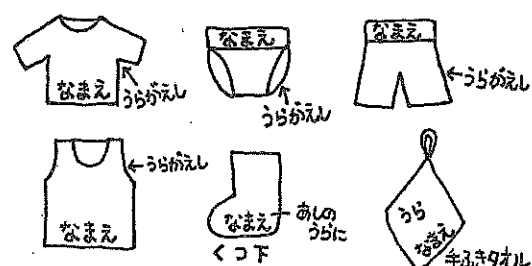


⇒ このように衣類を裏返し真ん中にフルネームで大きく書いて下さい。
名前が薄くなりましたら再度ご記入をお願いします。
♣子どもが着た時に自分で衣類をめくり、前・後ろを確認できます♣

幼児組 <名前について>

持ち物・着替えの全てにわかりやすく記名をして下さい。

衣類につきましては子どもたち自身が前後ろの確認ができるよう下記の位置に記名をして頂きますようお願いいたします。



⇒ このように衣類を裏返し真ん中にフルネームで大きく書いて下さい。

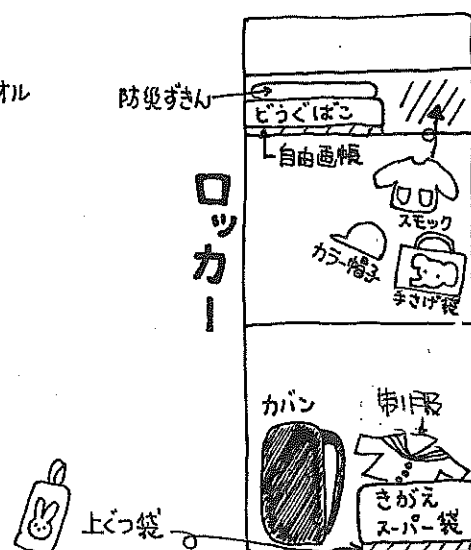
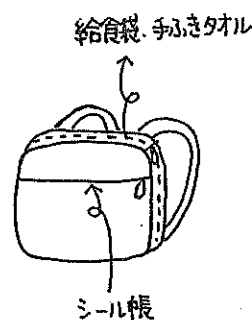
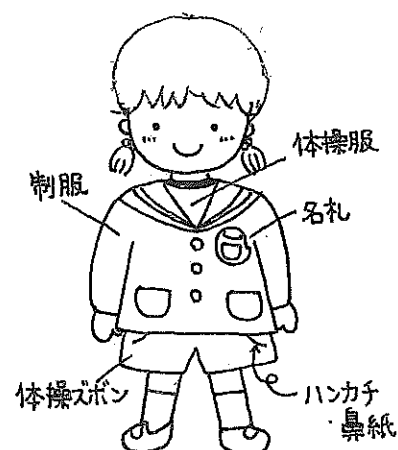
♣子どもが着た時に自分で衣類をめくり、前・後ろを確認できます♣

<服装・ロッカーの使い方>

体操服上下・制服で登園して下さい。

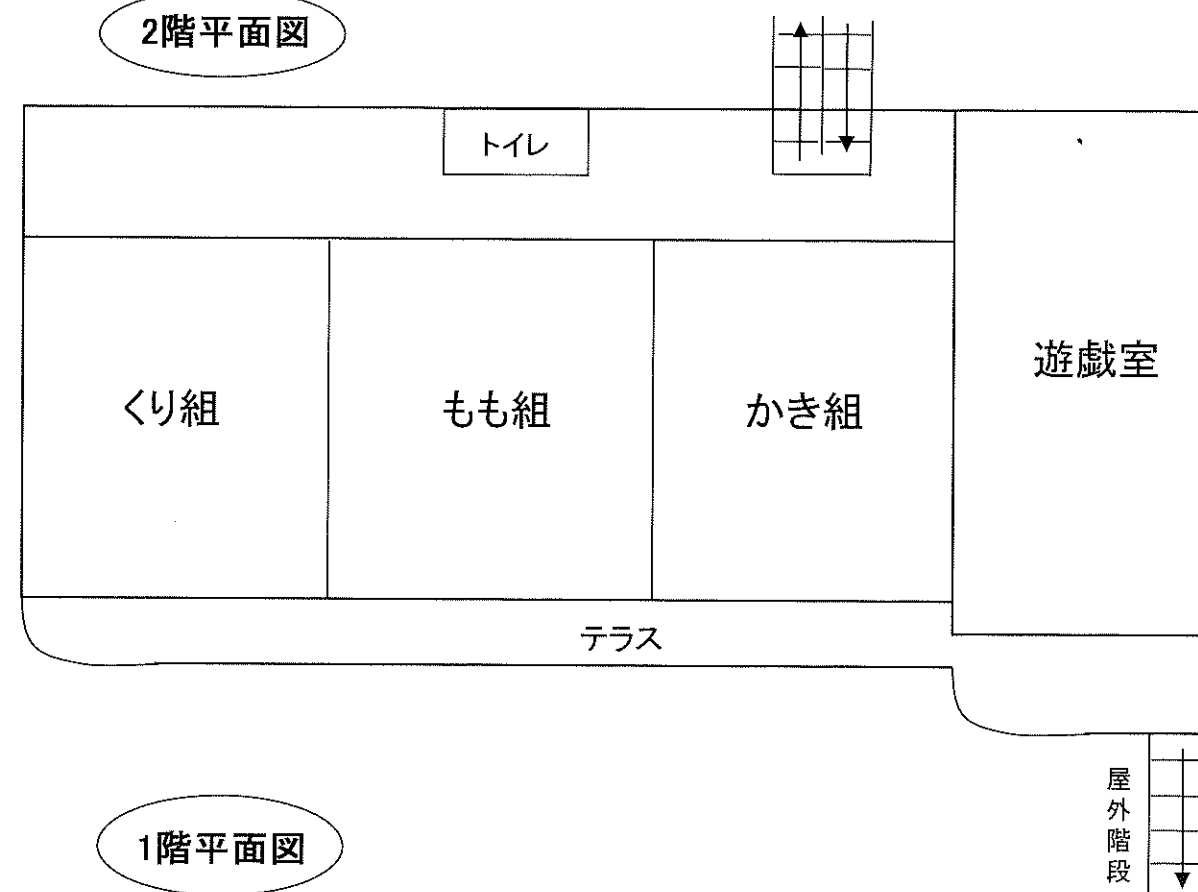
夏期は、体操服上下・カラー帽子で登園となります。

行事時の靴下は、黒又は紺のハイソックスをお願いいたします。

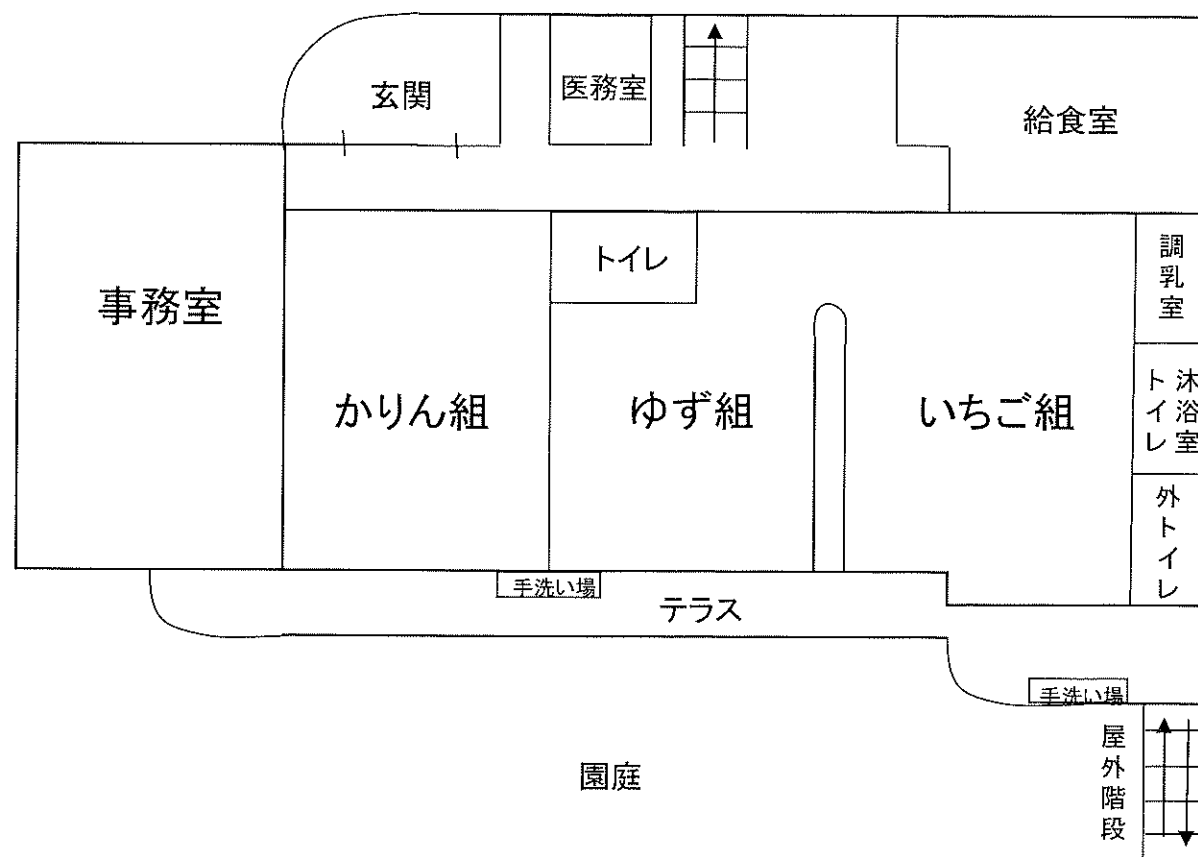


《各クラスの配置図》

2階平面図



1階平面図



◎園施設の概略

名 称	もみじこども園		
所 在 地	名古屋市守山区笹ヶ根 1 丁目 1003 番地 TEL 052-736-6670・FAX 052-736-6671		
収 容 定 員	95 名		
構 造	耐火建築 鉄筋コンクリート造 2 階建		
敷 地 面 積	991 m ²		
屋外遊戯場	324.91 m ² (屋上プール有り)		
緑 地 面 積	101.72 m ² (三角山)		
保 育 室	5 歳児クラス	45.00 m ²	4 歳児クラス 44.67 m ²
	3 歳児クラス	45.00 m ²	2 歳児クラス 41.35 m ²
	1 歳児クラス	36.34 m ²	0 歳児クラス 39.03 m ² (調乳室・沐浴室有り)
	全保育室空調設備 (0・1・2 歳児室は床暖房)		
調 理 室	41.56 m ² (スチームコンベクション有り)		
遊 戯 室	104.65 m ²		
開 所 時 間	7 時～19 時 (延長保育を含む)		
入所対象児	0 歳～5 歳 就学前まで		
	産休明けの生後 8 週間を経過し、健康診断の結果健康であること、および		
	児童福祉法による入所児童であること		
事 業 概 要	産休あけ保育事業 産休育休明け入所予約事業 延長保育事業 子育て支援事業 一時預かり事業 (幼稚園型)		

～添 付 資 料～

・SIDSについて

・子どもの病気の登園基準(別紙1)

・こども園における感染症の登園基準一覧表(別紙2)

SIDS(乳幼児突然死症候群)

それまで元気だった赤ちゃんが、何の予兆や病歴のないまま、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。稀であるものの、生後 2 週間から 1 年の乳児で、毎年 100 人を超える赤ちゃんが亡くなっています。原因の分からない病気で、窒息などの事故とは異なります。SIDS の予防方法は確立していませんが、いくつかの点に留意すれば、発症のリスクを低くすることがわかっています。また 12 月以降の冬期に発症しやすい傾向にあるため注意が必要です。乳児は体温調節が未熟なため布団や衣類で温めるのではなく、部屋全体を適温で温めるようにしましょう。

SIDS の発症リスクを低くするには？

(1)1 歳になるまでは、寝かせる時はあおむけに寝かせる

SIDS は、うつぶせ、あおむけのどちらでも発症していますが、うつぶせに寝かせたときのほうが約 3 倍程度 SIDS の発症率が高いことが分かっています。

なるべく赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。

寝かせ方に配慮することは、SIDS の危険を減らすだけでなく、赤ちゃんを窒息や誤飲、怪我などの事故から守ることに也有利于です。もちろん、医学上の理由などでうつぶせ寝を進められている場合はこの限りではありません。また、よく眠っているからと長時間赤ちゃんを一人にしないようにしましょう。

(2)なるべく母乳で育てる

母乳で育てることが赤ちゃんにとって、いろいろな点でよいことはよく知られています。

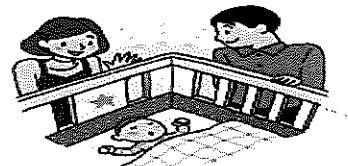
母乳で育てられている赤ちゃんのほうが SIDS の発症率が低いことが分かっています。

なるべく母乳で育てましょう。(人口乳が SIDS をおこすことではありません)

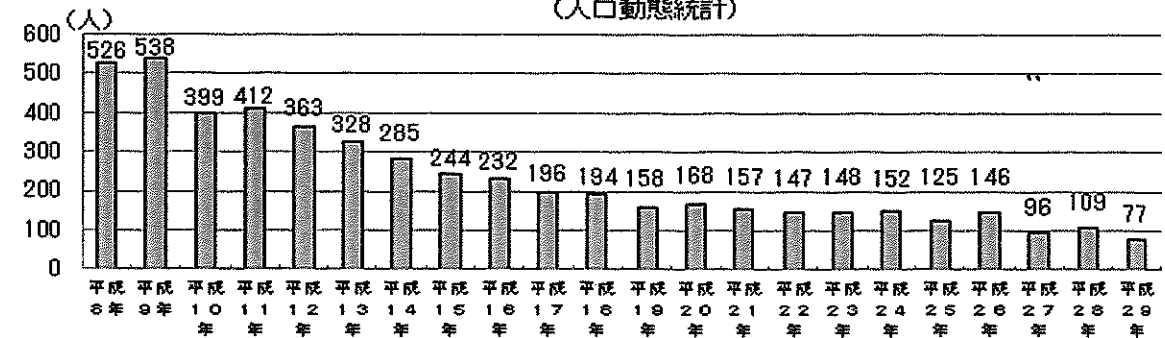
(3)たばこはやめる

たばこは SIDS 発生の大きな危険因子とみられています。

一般的に妊娠中の喫煙はおなかの赤ちゃんの体重が増えにくくなりますし、呼吸中枢にも明らかによくない影響を及ぼします。妊婦自身の喫煙はもちろん、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。日ごろから身近な人たちにも理解と協力を求めましょう



乳幼児突然死症候群死亡者数の推移
(人口動態統計)



0 歳児の死亡原因の割合 (2018 年現在)

1 位 先天奇形・染色体異常 2 位 周産期の特異的な呼吸障害

3 位 乳幼児突然死症候群 4 位 不慮の事故 ◎SIDS の危険年齢は生後 2 週間から 1 歳までの間が最も頻度の高い死因であり、この年齢集団の全死亡の 35~55% を占めますが、3 歳までは注意して見守る必要があります。当園での寝かせ方は、あおむけ寝か横向け寝としています。睡眠中の子供の様子をその場で見守り記録にチェックしていますが、体調が思わしくないときは無理のない登園にご協力ください。

《当園の午睡チェック》0・1・2 歳児⇒10 分毎に呼吸・体温・仰向け寝／横向け寝を触知で確認し記録しています。また 2019 年 1 月より医療機器のルクミーを導入。いちご組のみ併用で 5 分毎にセンサーで管理しています。(子供たちの寝ているときの向きを自動で記録し、うつぶせ寝や体動停止を検知したらアラームが鳴り知らせるものです。

《 注意 》小さなお子様で気をつけたい病気が感染症です。特に呼吸器の症状は気をつけましょう。RS ウイルス感染症は重症化することが多いです。また寝かせ方にも注意が必要です。生後 5 か月頃より寝返りができるようになりますが、簡単に元の状態に戻るとは限らず、仰向けに戻らなければ窒息する可能性があるため注意が必要です。そしてお子様の体調には常に配慮しているかと思いますが、園に登園させられそうな軽い症状の場合でも気をつけて見守る必要がある為、早めの医療機関の受診をお願いします。

《 こども園における感染症の登園基準表 》

乳幼児の子どもたちは、さまざまな感染症を繰り返し感染しながら病気への免疫力・抵抗力を高めていきます。
子どもの体調変化に早く気付き、重症化や合併症を防ぐため集団での発生や流行を防ぐため、子どもの健康状態がこども園での集団生活に適応できる状態での登園であるようご配慮下さい。

	登園できない	登園できる
発熱	・発熱期間と同日の回復期間が必要 ・朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。 ・食欲がなく朝食・水分が摂れていない ・24時間以内に38℃以上の熱が出ている。 ・24時間以内に解熱剤を使用している。	・前日、38℃を超える熱は出ていない。 ・熱が37.5℃以下で元気があり機嫌 顔色が良い。 ・食事や水分が摂れている。 ・咳や鼻水を認めるが増悪していない。 ・24時間以内に解熱剤を使っていない。
下痢	・24時間以内に2回以上の下痢便がある。 ・食事や水分を摂ると下痢がある。 ・下痢に伴い体温がいつもより高めである。 ・朝、排尿がない。	・24時間以内に2回以上の下痢便がない。 ・食事や水分を摂っても下痢がない。 ・発熱がみられない。 ・普段と変わらず排尿がある。
咳	前日に発熱がなくても ・夜間、咳のために起きる。 ・現在、連続した咳がある。 ・喘鳴や呼吸困難がある。 ・呼吸が速い。 ・37.5℃以上の熱を伴っている。 ・元気がなく機嫌が悪い。 ・食欲がなく、朝食・水分が摂れない。 ・少し動くだけで咳が出る。	・連続した咳が出ない。 ・喘鳴や呼吸困難がない。 ・呼吸が速くない。 ・37.5℃以上の熱を伴っていない。 ・機嫌よく元気がある。 ・朝食・水分が摂れている。 ・前日、38℃を超える熱が出ていない。
嘔吐	・24時間以内に2回以上の嘔吐がある。 ・食欲がなく、水分も欲しがらない。 ・機嫌悪く、元気がない。 ・顔色が悪く、ぐったりしている。 ・嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。	・24時間以内に2回以上の嘔吐がない。 ・発熱がみられない。 ・水分が摂取でき、食欲もある。 ・機嫌よく、元気がある。 ・顔色が良い。
発疹	・発熱とともに発疹がある。 ・感染症と診断された。 ・感染症が疑われ、医師により登園を控えるよう診断された。 ・口内炎のため食事や水分が摂れない。 とびひ ・顔などで患部を覆えない。 ・浸出液が多く他児への感染の恐れがある。 ・かゆみが強く手で患部を掻いてしまう。	・発疹についての受診の結果、感染の恐れがないと診断された。 ・感染症であった子どもが治療、あるいは経過観察の結果、感染しやすい時期を経て全身状態が良好になった。

《 こども園における感染症の登園基準表 》

こども園は乳幼児が集団で長時間、生活を共にする場です。
登園に際しては以下の配慮をお願いします。
①園内での感染症の集団状況や流行につながらないこと
②子どもの健康(身体)状態がこども園での生活に適応できる状態に回復していること

1. 医師が記入した意見書(診断書)が必要な感染症

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後の4日まで	解熱後3日を経過するまで
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発症後3日程度が最も感染しやすい)	発症した後5日を経過し、かつ乳幼児は解熱した後3日を経過するまで
風疹	発疹出現の前7日から後7日間位	発疹は消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹出現の1日から2日間前から痂皮化するまで	全ての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が出現してから5日を経過、全身状態が良好になる
結核		医師が感染の恐れがないと
咽頭結膜炎(プール熱)	発熱、充血等の症状が出現した数日間	主の症状が消え2日経過してから
流行性結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから。
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有な咳が消失するまで。または5日間の適正な抗菌薬による治療が終了するまで
急性出血性結膜炎	発症後4日前後で急激な発症で眼脂、充血、流涙、網膜下出血がある。	医師が感染の恐れがないと診断するまで
腸管出血性大腸菌	感染後3～5日間の潜伏期間後激しい腹痛頻回の下痢、その後血便になる	症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し48時間をあけて連続2回の検便により陰性が確認されるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

2. 医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日目	抗菌薬内服後24時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱、潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱、潰瘍の影響がなく普段どおりの食事が取れること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノ等)	症状のある間と症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているの で注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり普段の食事が摂れること。
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(回復後も口から1～2週間便から2～4日にかけてウイルスが排泄される ので注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく普段の食事が摂れること
RSウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
帯状疱疹	水泡を形成している間	全ての発疹が痂皮化してから
突発性発疹		解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと

3. 場合によっては医師の診断や治療が必要な感染症(登園届は必要としない)

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
伝染性膿痂疹(とびひ)	湿潤な発疹がある期間(ジクジクや膿の出る期間)	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が覆える程度のものであること(皮疹、痂皮が湿潤している間は接触による感染が認められる)
伝染性軟属腫(水いぼ)		掻きこわし傷から、浸出液が出ている時はガーゼ等で被覆すること
頭ジラミ症	発症から駆除開始数日間	駆除を開始していること